○　めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

秋山っ子

○　学校の教育目標　　豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校　学校だより　ＮＯ．１２　令和６年３月２５日発行

１年間ありがとうございました

　早いもので、令和５年度も明日が修了の日となりました。今年度は、５月に新型コロナウイルスが第５類になったことでこれまであった制約がなくなり、今まで受け継がれてきた行事については、４年前と同じように行うことができました。また、今年度から実施した北方小との合同運動会や郷の会の皆さんとのしいたけの駒打ちやそば打ち体験などの行事も地域や保護者の皆さんのご理解やご協力のおかげで児童の健やかな成長につながる行事となりました。今年度の保護者並びに地域の皆さんの様々な面でのご支援に心から感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

創立150周年記念秋山っ子発表会

　２月１８日（日）に創立１５０周年記念秋山っ子発表会を実施しました。はじめはオープニングセレモニーとして串間中学校の吹奏楽部の皆さんにリトルマーメイド、栄光への架け橋、学園天国の３曲を披露してもらいました。その後、本校の児童と一緒に市の音楽会で発表した「sing!sing!sing!」を演奏してもらいました。次の校長のあいさつでは、１５０周年記念事業として行ってきたことについて話をしました。次に３・４年生が国語と総合的な学習の時間の発表をしました。国語の発表では、絵を見て自分で作った話を発表しました。２匹の動物の様子や気持ちがよく分かる話でした。総合的な学習の発表では、串間そして秋山の特産品でもあるお茶についての発表でした。串間市が茶葉の生産に適している理由や茶工場を実際に見学して分かったことを発表しました。次は、５年生が総合的な学習の時間と作文の発表をしました。総合的な学習の時間の発表では、「串間市の未来を考えよう」という題材で調べたことや秋山小の歴史についてスライドを使って分かりやすく発表しました。作文発表では、市の青少年の声を聞く会のために書いた作文を代表の児童が発表しました。自分の将来の夢について堂々と発表しました。次は、福島高校の胡桃太鼓部の発表でした。部員が２人から４人に増えており、昨年度以上に迫力のある演奏で発表会を大いに盛り上げてくれました。次は、全校児童が縄跳びの発表をしました。今までに身に付けた技を組み合わせた連続技や長縄２本を跳ぶダブルダッチを披露しました。最後は、全校児童が感想とお礼を述べました。４人とも堂々と感想やお礼を述べることができました。

　今年度は、１５０周年記念事業の一環として行いましたで、例年よりもたくさんの地域の方にご来場いただき、盛大に実施することができました。たくさんの皆さんに児童の成長した姿や練習の成果を観ていただいてとてもよかったです。出演してくださった串間中吹奏楽部、福島高校胡桃太鼓部の皆さん、引率の先生方、参観していただいた保護者や地域の皆さん、ありがとうございました。

学校と地域を結ぶスクールコンサート

　２月２０日（火）に学校と地域を結ぶスクールコンサートが北方小の体育館であり、本校と北方小の児童と職員が「村上三絃道」さんの津軽三味線の演奏による民謡などを鑑賞しました。このコンサートは、学校と地域を結ぶコンサート実行委員

会が主催で串間市教育委員会の協力のもと開催することができたコンサートで、県内５地区でしか行われないコンサートでした。津軽三味線での力強い演奏からコンサートが始まり、各地の民謡（沖縄県の谷茶前節や新潟県の佐渡おけさなど）や串間市の串間音頭、最新曲（千本桜）などの演奏を聴きました。チャレンジ・ザ・和楽器というプログラムでは、本校の児童も含む数名が実際に三味線の演奏を体験しました。日頃なかなか和楽器の音色や民謡に親しむことがないので、伝統的な音楽や楽器にふれるとても貴重な機会となりました。すばらしい演奏を聴かせていただいた村上三絃道の皆さん、ありがとうございました。

学年末遠足

３月１日（金）に学年末遠足がありました。今回は、南九州大学の学生さん２名（３年生と１年生）も参加しました。道の駅くしまに集合し、まずは、市の総合体育館別館に行きました。体育館では、ニュースポーツ体験ということでソフトダーツとボッチャをしました。ボッチャは、だんだんこつをつかんで上手になり、チーム対抗試合でも接戦でした。その後は、児童が話し合って決めた遊び（鬼ごっこ、ドッチビー）をしました。鬼ごっこ（ケイドロ）では、５年生３名がケイサツ役でドロボウ役のみんなをわずか１分３０秒で捕まえることができました。体育館での活動後は、運動公園の子ども広場に移動し、昼食タイムをとりました。この日は、弁当の日としていて、それぞれの弁当の紹介をしてから食べました。どの児童のお弁当も彩りもよくおいしそうでした。昼食後は、自由に遊びました。思い思いにおしゃべりをしたり、遊具で遊んだり楽しく過ごすことができました。公園で遊んだ後は、道の駅くしまに戻り、おわりの会をしました。おわりの会では、それぞれの児童が感想を述べた後に校長がまとめをしました。児童の感想発表では、南九州大学の学生さんが参加してくれたおかげでいつもの遠足よりも楽しく過ごせたという感想が聞かれました。校長のまとめでは、残りの１カ月間、学習や生活のまとめをしっかり行うようにという話をしました。南九州大学の学生さんにも参加してもらって、思い出に残る楽しい遠足になりました。朝早くからの弁当作りにご協力いただいた保護者の皆さん、そして優しく接していただいた南九州大学の学生の皆さん、ありがとうございました。

そば打ち体験

３月８日（金）に北方秋山郷の会の皆さんのご指導・ご協力のもとそば打ち体験をしました。はじめの会では、郷長の有嶋さんのお話の後、児童が自己紹介をしました。その後、そばの打ち方について教えていただき、そばを打ちました。昨年度の食体験ではそば粉に水を加えてこねましたが、今回は山芋（自然薯）を摩り下ろしたものを加えて、こねました。山芋（自然薯）を入れてこねるとおいしくなるだけでなく、こねやすくなるとのことでした。そば打ちをするのは２回目でしたので、児童はとても上手にこねていました。そばができあがり、みんなで食べました。山芋入りのそばはとてもおいしく、５杯おかわりした児童もいました。郷の会の皆さんのおかげで貴重な体験ができ、おいしいそばも食べることができました。ご指導・ご協力ありがとうございました。